資料5

日本医療薬学会 専門薬剤師制度に関する概要報告

第三回薬剤師のキャリアパスに関する懇談会

専門薬剤師・指導薬剤師・研修施設の認定数、症例審査の状況（2025年度）

① 認定数

制度名	専門薬剤師（正規）	専門薬剤師（暫定）	専門薬剤師（暫定・がん）	指導薬剤師	研修施設
医療薬学	1,548	—	—	833	354
がん	827	—	—	382	339
薬物療法	70	—	—	61	261
地域薬学ケア	—	66	148	—	386

＊ 認定数の基準日：1月1日 ／ 認定者数：人、研修施設数：件

② 専門薬剤師・新規申請における症例審査の状況

資格名	委員	申請者	症例数	審査担当症例数 委員1人あたり（平均）
医療薬学	10	46	460	92.0
がん*	14	50	2,500	178.6
薬物療法	10	29	1,450	290.0
地域ケア（主領域）	24	48	2,400	200.0
地域ケア（副領域：がん）	10	40	800	160.0

③専門薬剤師・更新申請における症例審査の状況

資格名	委員	申請者	症例数	審査担当症例数 委員1人あたり（平均）
医療薬学	10	84	840	168.0
がん*	14	136	2,720	194.3
薬物療法	10	2	40	8.0

＊ 認定数の基準日：1月1日 ／ 認定者数：人、研修施設数：件
＊ 医療薬学、薬物療法、地域薬学ケアの各専門薬剤師の症例審査では、申請者1名の症例・臨床実績を、２名の委員で審査を実施。
がん専門薬剤師の症例審査では、申請者１名の症例を１名の委員と委員会委員以外の審査員１名で審査を実施。

専門薬剤師制度に係る委員会別の委員数、認定試験問題の作成（2025年度）

専門薬剤師制度を運営する委員会、構成員数

委員会名	人数
専門薬剤師制度運営委員会	12
専門薬剤師認定試験小委員会	12
専門薬剤師制度支援システム検討WG	7
医療薬学専門薬剤師認定委員会	10
医療薬学専門薬剤師研修小委員会	7
がん専門薬剤師認定委員会	14
がん専門薬剤師研修小委員会	11
がん専門薬剤師試験小委員会	13
がん専門薬剤師能力向上小委員会	10
薬物療法専門薬剤師認定委員会	10
薬物療法専門薬剤師研修小委員会	10
地域薬学ケア専門薬剤師認定委員会	10
地域薬学ケア専門薬剤師研修小委員会	8
地域薬学ケア専門薬剤師症例審査検討WG	10
合計	142

委員会編成期間：2024/4/1～2025/3/31

専門薬剤師認定試験の作成に係る対応

出題数	試験問題作成委員数	作問のための委員会開催回数
100題	12	3

がん専門薬剤師認定試験の作成に係る対応

出題数	試験問題作成委員数	作問のための委員会開催回数
100題	13	3

専門薬剤師制度に係る研修会一覧

研修会の名称	概要	開催頻度	開催時間	開催形態	参加者数
がん介入症例書き方スキルアップセミナー	がん専門薬剤師の認定申請に向け、持ち寄った症例の介入内容と記載方法を参加者間で検討し、症例サマリの質を高める。	毎年（1/回）	6時間30分/回（休憩含む）	オンライン（Live）開催	2022年: 28人 2023年: 28人 2024年: 26人 2025年: 30人
がん専門薬剤師アドバンスト研修会	がん専門薬剤師・がん指導薬剤師を対象に、専門医の講演や症例検討、討議を通じ、安全で有効ながん薬物療法の高度な知識・技術を習得する。	毎年（1/回）	6時間15分/回（休憩含む）	オンライン（Live）開催	2022年: 30人 2023年: 36人 2024年: 35人 2025年: 25人
がん専門薬剤師全体会議	がん専門薬剤師・がん指導薬剤師が意見・情報を交換し、専門職のあり方を討議する全員参加型の教育研修会議。意識向上と専門性の高い人材育成を図る。	毎年（1/回）	8時間5分～8時間30/回（休憩含む）	現地、オンライン（Live）開催	2021年: 489人 2022年: 436人 2023年: 484人 2024年: 455人 2025年: 489人
がん専門薬剤師集中教育講座（日本病院薬剤師会との共催）	がん専門薬剤師研修ガイドラインに基づく20種類以上の臓器・疾患領域を対象に、がん治療・薬物療法に精通した医師や薬剤師による講義を通じて、がん薬物療法に必要な知識や治療法の習得を図る集中講義である。 講義数は2021年の最大16種類から2025年には26種類に拡充しており、日々進歩する高度ながん医療に対応できる専門性の高い人材の育成を目的とする。	毎年（1/回）	必須講義： 9時間10分～13時間20分/回 全講義：15時間50分～21時間40分/回	オンライン（オンデマンド）開催	2021年: 2906人 2022年: 2330人 2023年: 1733人 2024年: 2417人 2025年: 2434人
薬物療法集中講義	研修ガイドラインに基づく13疾患領域について、専門分野の医師等から基本的知識・治療法を学ぶ。各専門薬剤師認定制度の講習単位取得と自己研鑽に資する。	毎年（1(2)/回）	12時間～13時間/回（休憩含む）	オンライン（オンデマンド）開催	2021年（第1回）: 1519人 2021年（第2回）: 992人 2022年: 964人 2023年: 802人 2024年: 813人 2025年: 715人
薬物専門薬剤師全体会議	薬物療法専門薬剤師・薬物療法指導薬剤師が意見・情報を交換し、専門職のあり方を討議する全員参加型の教育研修会議。意識向上と人材育成を図る。	毎年（1/回） 2025年から開催	2時間/回	現地開催	2025年: 57人
薬物療法専門薬剤師・症例報告の書き方ワークショップ	薬物療法専門薬剤師の認定申請に向け、持ち寄った症例の介入内容と記載方法を参加者間で検討し、症例サマリの質を高める。	毎年（1/回） 2024年から開催	2～4時間/回	現地、オンライン（Live）開催	2024年: 19人 2025年: 139人

各専門薬剤師制度の手数料（2026年度）

単位：円

認定申請手数料

	医療薬学専門薬剤師		がん専門薬剤師		薬物療法専門薬剤師		地域薬学ケア専門薬剤師	
	認定審査料	認定料	認定審査料	認定料	認定審査料	認定料	認定審査料	認定料
専門薬剤師（新規）	11,000	22,000	11,000	22,000	11,000	22,000	11,000	22,000
専門薬剤師（更新）	16,500	–	16,500	–	16,500	–	16,500	–
指導薬剤師（新規）	5,500	11,000	5,500	11,000	5,500	11,000	5,500	11,000
指導薬剤師（更新）	11,000	–	11,000	–	11,000	–	11,000	–

連携研修料（年間）

	医療薬学	がん	薬物	地域薬学
連携施設→学会	46,200	46,200	46,200	79,200
学会→基幹施設	33,000	33,000	33,000	66,000

専門薬剤師制度におけるシステム利用料（委託費）、減価償却費など

単位：円

専門薬剤師資格申請システム

	計
設備投資額	32,012,750
減価償却費	6,095,833
委託費（運営費用）	4,045,800

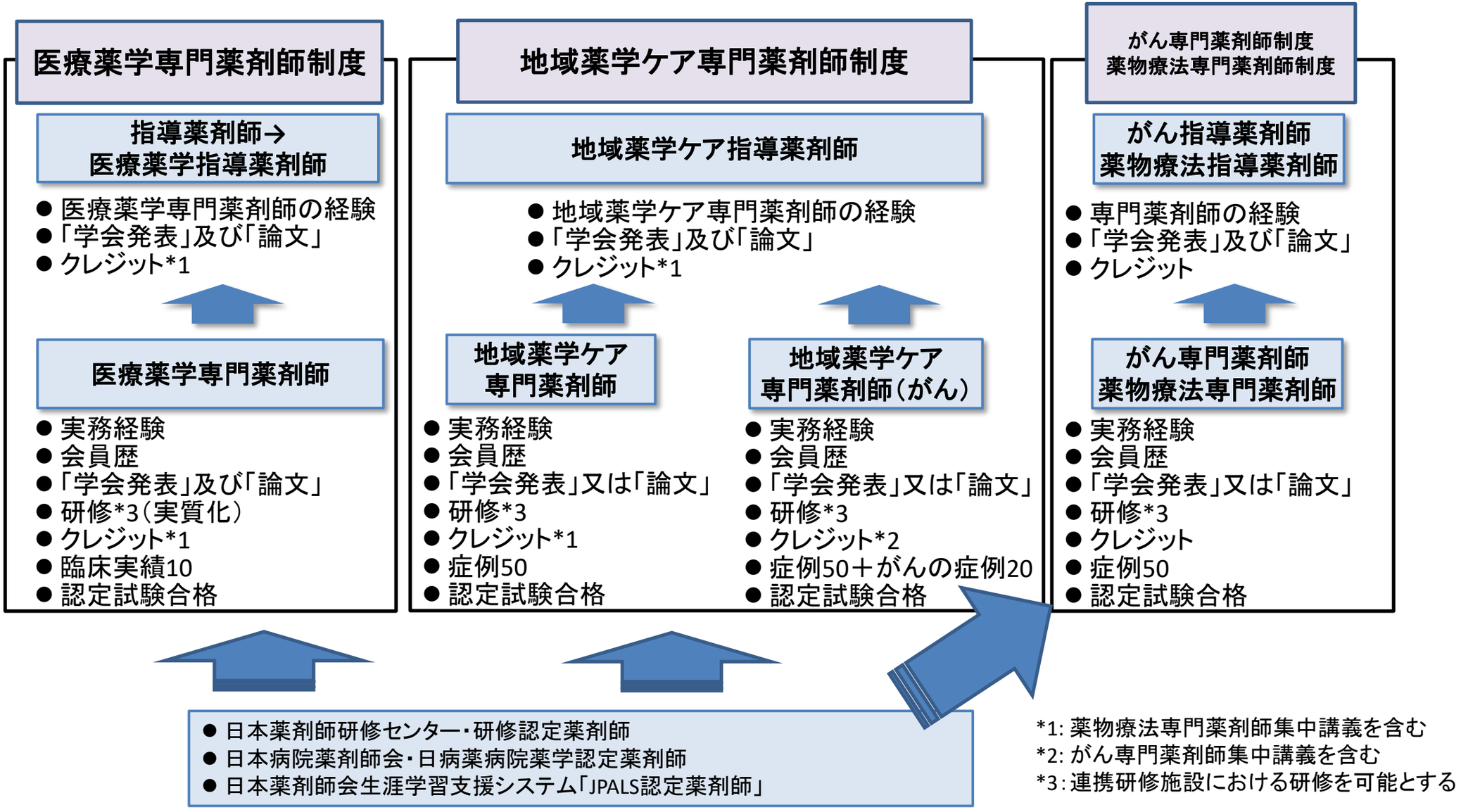
＊ 設備投資額は、累積額である。
＊ 減価償却費および委託費は、2025年の実績である。
＊ 現在、本システムは構築が続いており、今後も約10,000～15,000千円程度かかる見込みである。

研修関係システム費用（専門薬剤師関連の研修会での利用）

	計
委託費（会員管理システム）	204,622
委託費（配信システム、収録機材等）	12,407,144

＊ 委託費は、2021～2025年の実績の平均額である。

日本医療薬学会の専門薬剤師制度



*1: 薬物療法専門薬剤師集中講義を含む
*2: がん専門薬剤師集中講義を含む
*3 : 連携研修施設における研修を可能とする

医療薬学専門薬剤師制度｜認定・更新要件

項目	専門薬剤師｜新規	指導薬剤師｜新規	専門薬剤師｜更新	指導薬剤師｜更新
基本資格・会員歴	薬剤師免許 実務5年以上 本学会会員5年以上継続 基礎認定資格*	医療薬学専門薬剤師として医療現場または大学で5年以上 本学会会員5年以上継続	本学会会員を継続	本学会会員を継続
研修歴	研修：認定研修施設で1年以上 （平均月4日相当以上）	活動：専門薬剤師としての活動5年以上	研修：認定研修施設で1年以上 （平均月4日相当以上）	活動：指導的役割の実績
単位 ・必須講習	50単位以上 ・年会参加1回以上 ・薬物療法集中講義受講1回以上	50単位以上 ・薬物療法集中講義1回以上	50単位以上 ・年会参加1回以上 ・薬物療法集中講義受講1回以上 ・学術論文5単位以上	50単位以上 ・学会発表・学術論文で計20単位以上
臨床実績	臨床実績10件		臨床実績10件	
学会発表・論文等	学会発表2回以上（筆頭発表含む） および 論文2報以上（筆頭著者含む）	学会発表10回以上（筆頭発表含む） および 論文10報以上（筆頭著者含む）		
認定試験	専門薬剤師認定試験に合格			

＊ 基礎認定資格：「日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師」、「日本病院薬剤師会日病薬病院薬学認定薬剤師」、「日本薬剤師会生涯学習支援システム「JPALS認定薬剤師」」のうち、いずれかの認定を受けていること。

がん専門薬剤師制度｜認定・更新要件

項目	専門薬剤師｜新規	指導薬剤師｜新規	専門薬剤師｜更新	指導薬剤師｜更新
基本資格・会員歴	薬剤師免許 実務5年以上 本学会会員5年以上継続 基礎認定資格*	がん専門薬剤師として5年以上 本学会会員5年以上継続 がん領域学会会員	本学会会員を継続	本学会会員を継続 がん領域学会の会員を継続
研修・活動歴	研修：認定研修施設で5年以上	活動：専門薬剤師としての活動5年以上		活動：指導的役割の実績
単位 ・必須講習	5年で50単位以上 ・年会1回以上 ・がん専門薬剤師集中教育講座1回以上	5年で50単位以上 ・がん専門薬剤師集中教育講座1回以上	50単位以上 ・年会1回以上 ・がん専門薬剤師集中教育講座1回以上	50単位以上
症例	がん患者への薬学的介入症例50例		がん患者への薬学的介入症例20例	
学会発表・論文等	学会発表2回以上（筆頭発表含む） 　または 筆頭論文1報以上	がん領域の学会発表3回以上（筆頭発表含む）または国際学会でのがん領域の筆頭発表1回以上 　および 論文3報以上（筆頭・がん領域含む） またはがん英文筆頭論文1報以上		
認定試験	がん専門薬剤師認定試験に合格			

＊ 基礎認定資格：「日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師」、「日本病院薬剤師会日病薬病院薬学認定薬剤師」、「日本薬剤師会生涯学習支援システム「JPALS認定薬剤師」」のうち、いずれかの認定を受けていること。

薬物療法専門薬剤師制度｜認定・更新要件

項目	専門薬剤師｜新規	指導薬剤師｜新規	専門薬剤師｜更新	指導薬剤師｜更新
基本資格・会員歴	薬剤師免許 実務5年以上 本学会会員5年以上継続 基礎認定資格*	薬物療法専門薬剤師として5年以上 本学会会員5年以上継続	本学会会員を継続	本学会会員を継続
研修・活動歴	研修：認定研修施設で5年以上	活動：専門薬剤師としての活動5年以上		活動：指導的役割の実績
単位 ・必須講習	5年で50単位以上 ・年会1回以上 ・薬物療法集中講義1回以上	5年で50単位以上 ・薬物療法集中講義1回以上	50単位以上 ・年会1回以上 ・薬物療法集中講義1回以上	50単位以上
症例	薬学的介入症例50例		薬学的介入症例20例	
学会発表・論文等	学会発表2回以上（筆頭発表含む） 　または 筆頭論文1報以上	発表3回以上（筆頭発表含む）または 国際学会での発表筆頭1回以上 　および 論文3報以上（筆頭含む）または英文筆頭1報以上		
認定試験	専門薬剤師認定試験に合格			

＊ 基礎認定資格：「日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師」、「日本病院薬剤師会日病薬病院薬学認定薬剤師」、「日本薬剤師会生涯学習支援システム「JPALS認定薬剤師」」のうち、いずれかの認定を受けていること。

地域薬学ケア専門薬剤師制度｜認定・更新要件

項目	専門薬剤師｜新規	指導薬剤師｜新規	専門薬剤師｜更新	指導薬剤師｜更新
基本資格・会員歴	薬剤師免許 実務5年以上（薬局経験1年以上） 本学会会員5年以上継続 基礎認定資格*	地域薬学ケア専門薬剤師として5年以上 本学会会員5年以上継続	本学会会員を継続	本学会会員を継続
研修・活動歴	研修：認定研修施設で5年以上 ＊副領域・がん： がん領域の認定研修施設で５年以上	活動：専門薬剤師としての活動5年以上		活動：指導的役割の実績
単位 ・必須講習	5年で50単位以上 ・年会1回以上 ・薬物療法集中講義1回以上 ＊副領域・がん： （追加）がん専門薬剤師集中教育講座1回以上	5年で50単位以上 ・薬物療法集中講義1回以上	50単位以上 ・年会1回以上 ・薬物療法集中講義1回以上 ＊副領域・がん： （追加）がん専門薬剤師集中教育講座1回以上	50単位以上
症例	薬学的管理症例50例 ＊副領域・がん： （追加）悪性腫瘍領域に関わる症例20例		薬学的管理症例20例 ＊副領域・がん： （追加）悪性腫瘍領域に関わる症例4例	
学会発表・論文等	学会発表2回以上(年会での筆頭発表含む) または 筆頭論文1報以上 ＊副領域・がん： がん領域のものを含むこと	発表3回以上（筆頭発表含む）または 国際筆頭1回以上 および 論文3報以上（筆頭含む）または英文筆頭1報以上		
認定試験	専門薬剤師認定試験または生涯学習達成度確認試験に合格			

＊ 基礎認定資格：「日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師」、「日本病院薬剤師会日病薬病院薬学認定薬剤師」、「日本薬剤師会生涯学習支援システム「JPALS認定薬剤師」」のうち、いずれかの認定を受けていること。

研修単位（クレジット）

1. 学会等参加 ・ 発表

■ 全制度共通

学術集会への参加・発表	参加	発表	共同発表
医療薬学会年会	10	5	2
集中講義	15	-	-
フレッシャーズ・カンファレンス	5	5	2
医療薬学公開シンポジウム	5	5	2
臨床研究セミナー	5	5	2
医療薬学会が主催・共催するセミナー	1/1時間	-	-

■ 医療薬学専門薬剤師制度

学術集会への参加・発表	参加	発表	共同発表
医療薬学に関連する全国学会	5	3	2
医療薬学に関連する地方会	5	3	2

■ がん専門・薬物療法専門・地域薬学ケア専門薬剤師制度

学術集会への参加・発表	参加	発表	共同発表
医療薬学会が認定する他団体のセミナー	1/2時間	-	-

2. 論文掲載 ・ 論文査読

学術論文への掲載、論文の査読	筆頭著者	共著者
医療薬学関連の日本語論文（査読あり）	10	5
医療薬学関連の英語論文（査読あり）	20	10
論文査読		
・医療薬学あるいはJPHCSの査読（1報につき）	1	

各種専門薬剤師における研修施設の異同

	がん 専門薬剤師	薬物療法 専門薬剤師	地域薬学ケア 専門薬剤師	医療薬学 専門薬剤師
指導薬剤師の在籍 （基幹施設）	がん、薬物療法、医療薬学、地域薬学ケア指導薬剤師の いずれか1名以上			がん、薬物療法、医療薬学、地域薬学 ケア指導薬剤師のいずれか1名以上
基幹施設ががん専門薬剤師 研修施設であること	必須	非必須	副領域でがんを専攻する場合には 必須	非必須
連携施設における専門薬剤師 等 の在籍	がん専門薬剤師または日病薬がん薬物療法認定薬剤師のいずれか1名以上	医療薬学専門薬剤師、薬物療法専門薬剤師、地域薬学ケア専門薬剤師（暫定を含む）のいずれか1名以上	各指導薬剤師[*1]、医療薬学専門薬剤師、薬物療法専門薬剤師、地域薬学ケア専門薬剤師（暫定を含む）あるいは生涯学習達成度確認試験に合格した薬剤師[*2]のいずれか1名以上	医療薬学専門薬剤師1名、あるいは日本薬剤師研修センター・研修認定薬剤師又は日本病院薬剤師会・日病薬病院薬学認定薬剤師又は日本薬剤師会生涯学習支援システム「JPALS認定薬剤師」を取得した薬剤師のいずれか合わせて2名以上
基幹施設（連携型）の指導 薬剤師による指導頻度	定期的			定期的
学会承認	必要			必要
研修期間	5年			1年以上

*[1]当面は、地域薬学ケア専門薬剤師制度では、薬局の基幹施設を設定しないため、がん、薬物療法、医療薬学、地域薬学ケア指導薬剤師の在籍も要件となりうる。
*[2]以下の条件も必要である。①本学会会員であること。②日本薬剤師研修センター・研修認定薬剤師、日本病院薬剤師会・病院薬学認定薬剤師、日本薬剤師会生涯学習支援システム「JPALS認定薬剤師」、その他本学会が認めた認定制度による認定薬剤師のいずれかの認定を受けていること。③薬剤師生涯学習達成度確認試験合格、④学会発表または論文掲載の研究業績